

コメディカル部門必須研修

コメディカル部門：1～2年次必修研修（並行研修）

薬剤部・中央放射線部・臨床検査科、歯科口腔外科の各部門を半日以上/年間

指導医：指導医の資格のある医師

上級医：臨床経験が8年以上あるが指導医養成講習会未受講の医師、および臨床経験7年以下の医師

指導者：各コメディカル部門の部門長もしくは副部門長

●一般目標（GIO）

2年間の初期臨床研修中に薬剤部・中央放射線部・臨床検査科、歯科口腔外科において研修を行う。この研修を通じて、コメディカル部門の業務内容を理解した上でチーム医療の重要性を認識し、その実践に役立てる。

●行動目標（SB0s）

- ・中央放射線部で一般撮影、ポータブル撮影、CT、MRIがどのように施行されているか理解する。
- ・薬剤部でどのように調剤が行われているか理解する。
- ・各種臨床検査がどのように行われているか理解する。
- ・オーラルケアの大切さを理解し、その実際を経験する。

●方略

1. 研修期間は、研修中の診療科に関係なく研修医が研修を希望したときに適宜行う。基本的に、いずれの部門においても1回あたり半日の研修を原則とする。

各部門での研修は最低でも1回以上（年）行う。

回数の上限はなく何回研修を行っても構わない。

2. 研修を行う際の申し込みは、研修を行いたい月日及び時間帯を、部門の責任者に申し出る。

3. コメディカル部門で研修を行う際は、その研修日の属する期間割の診療科責任者に必ず許可を取ること。

4. 研修を行った際の記録は、「コメディカル部門への研修記録」用紙に研修した日時を記録し、責任者（もしくは、その時の指導者）のサインをもらう。

用紙は、初期臨床研修が終了時に研修医手帳とともに提出。

各部門責任者

①中央放射線部

担当責任者：副診療放射線技師長

- ・一般撮影（撮影担当可能）

火・木の午前中は特に整形領域の外来撮影が多く、一般撮影は午前中の方が集中して多い。

- ・ポータブル撮影（撮影担当可能）
- ・C T（撮影及び解析）
月・水・金の午後は冠動脈C Tの撮影及び解析を行っている。

②薬剤部

- 担当責任者：副薬剤部長（教育研修担当）
- ・調剤：平日13時30分以降に体験可能
 - ・抗がん剤調製：午前8時30分より1名のみ体験可能
 - ・注射（D I）：平日13時30分以降

③検査部

- 担当責任者：副臨床検査技師長
- ・細菌検査室：グラム染色、培地観察
 - ・血液：C B C測定の実際、血液像観察
 - ・一般：尿沈渣の鏡検
 - ・生化学：生化学分析の実際（採血、遠心、測定）
 - ・免疫：各種迅速検査の実際
 - ・生理：心電図、脳波等測定の実際

④歯科口腔外科

- 指導責任者：歯科口腔外科部長
- ・手術：火・木曜日、事前に手術予定を確認して下さい。
 - ・顎顔面外傷：外科救急時に当科医師と加療できる。
 - ・口腔ケア：当科医師とともに口腔粘膜を観察する。
 - ・歯科治療：月・水・金曜日に行っている。（抜歯も可能）

●評価

- ・病院として定めた評価方法にて評価を行う。
- ・評価者は、おもに指導者（各部門長もしくは副部門長）が行う。
- ・研修医からの評価も必ず施行する。